



人間栄養学科へ入学した皆さんへ

—学長からのメッセージ—



学長 岸田 嘉一

今年、誕生した中国学園大学の現代生活学部人間栄養学科は管理栄養士になるための栄養学を学習する学科です。人間栄養学科ですから人間の栄養についての知識と技術を身につける訳です。言うまでもなく、管理栄養士になるためには人間の「身体」のための栄養について学習することになります。そのための充実した学科目と「難しい学問を易しく教えてくれる（と私は信じているのですが）」専門の先生方が貴方達を待っています。人間の栄養というと「身体」の栄養のほかに、「心」の栄養があります。心の栄養というのは教養です。管理栄養士になって職場で仕事をする時に、心の栄養指導が必要になることもあるでしょう。そのためには皆さん自身が在学中に心の栄養をつけておくことも必要でしょう。本を読んだり、演劇や映画を見たり、音楽を聴いたり、絵画を見たりするのも教養をつけるには欠かせないことですが、せっかく大学にいますので、先生方と、大いに雑談をしてみてください。授業中に雑談するのは困りますが、授業以外の時に先生方と専門以外のことを話すと知らず知らずのうちに教養が身につくということもあると思います。人間栄養学科の性格や雰囲気を作っていくのは貴方達です。居心地の良い、親しみのある、休みの日にも来たくするような伝統をつくってください。

「人間栄養学科 NEWS」発行にあたって

岸田学長のメッセージにもありますように、本年4月中国学園大学現代生活学部人間栄養学科が発足いたしました。現段階では、1学部1学科ですが、将来的発展を期しています。人間栄養学科について申し上げますと、豊かな人間性を備え、実力ある、社会に貢献できる管理栄養士・栄養士を養成したいと考えています。新たな出発にあたって、私達の熱意と努力と教育研究活動の現状を、より多くの方々にご理解いただくために、定期的に広報誌を発行しようということとなりました。中国学園にはすでに、中国学園大学・中国短期大学広報誌「しらさぎ」がありますので、これとの重複をできるだけ避けて、内容を人間栄養学科に限定したタイムリーな情報発信をめざして、「人間栄養学科 NEWS」として手作りで発行することにしました。為川雄二講師がニュース作成担当を、広報一般は菅淑江、板野道弘両教授が担当します。ご質問、ご意見、ご提案等がありましたら、右上にあります「問い合わせ先」によりしくお願いいたします。



現代生活学部
学部長 関 周司

中国学園大学開学
中国短期大学創立40周年
中国学園図書館棟落成

記念式典挙行

吉備の山からの緑風も爽やかな4月26日、中国学園のキャンパスで上記3つのことを記念して式典が挙行されました。中国学園大学の1期生も、これからの大学生活に胸ふくらませながら参加しました。

大学開学記念事業の1つである図書館棟が落成。この図書館棟は最新の



「知の棟」図書館

機能を備えた3階建ての潇洒な建物で、「大学図書館は大学の心臓である」と言われるとおり、学園の中央の位置に建ちました。蔵書は約10万冊、3階には講義室、会議室それに研究室もあり、また前に広がる学庭は思考するにふさわしい安らぎを与えてくれ、まさに「知の棟」の完成です。

式典の後、音楽科の卒業生で現在プラハで声楽家として国際的に活躍されている慶児道代さんの独唱会がありました。最後に学歌を独唱され、祝賀に一層の華が添えられました。（教授・菅 淑江）

新しい学風を作ろう!!

—中国学園大学に第1期生誕生—

4月2日、中国学園大学初の入学宣誓式が、本学園音楽ホールにおいて挙行され、第1期生が誕生しました。当日は、入学生にとってはもちろん、教職員にとっても初めての入学式ということで、列席者全員が、希望と期待、そしてちょっぴりの不安も交じった緊張の中に厳かに式が進行していきました。

岸田嘉一学長の式辞、中島博理事長の祝辞に続いて入学生を代表して吉河直子さんが入学宣誓を行いました。また本学園の日高好一講師（テノール）と笹岡和彦助教授（ピアノ）による国家独唱、および祝典歌「O Primavera（春よ）」（P.A.ティリンディツリ作曲）、「Tosca Recondita armonia（トスカ 第一幕 たえなる調和）」（G.ブッチーニ作曲）の独唱があり、中国学園に新たな歴史の第一歩を記す入学式に相応しい感動的な式となりました。（助教授・嶋田 義弘）



希望と期待の入学宣誓式
（内：代表・吉河 直子
さんによる入学宣誓）

学び・親しみ・将来を考える

—新入生宿泊研修—

入学後間もない4月19日～20日、新入生達は倉敷市の山陽ハイツで1泊の宿泊研修を行いました。これは、4年間の大学生活を有意義に送るため、これからどういう学生生活を送るべきかを考え、また学生間はもちろん教員との交流を深めることを目的としています。“ふれあいゲーム”ではストレッチ体操やゲームをしながら、学生や教員、互いの顔と名前を覚え合いました。夕食後はグループに分かれ、「大学生活への期待」や「若者としての生き方」などのテーマについて討論し、意見をまとめて発表しました。2日目は、それぞれ職場の異なる4人の管理栄養士（県栄養士会、町役場、小学校、病院）による“管理栄養士からのメッセージ”を聞きました。多方面における管理栄養士の仕事の内容や意気込みを聞き、新入生も将来に対する考えが広がったようです。最後に山陽ハイツを後にして、倉敷市内の大原美術館に向かいました。有名な絵画や陶器などを鑑賞し、地域の財産に対する新しい発見ができたのではないのでしょうか。（教授・佐々木 敦子）



グループ討議



大先輩・管理栄養士の講演

体育祭開催！

5月14日、ぬけるような青空の下、中国学園大学・中国短期大学体育祭が開催されました。体育祭は学友会、体育祭実行委員などの学生が主体となり運営されました。”触れ合い”をテーマに、宝探し、逃げ玉入れ、クラス対抗リレーなど色々な種目が行われました。中でも体育祭の名物である「ウルラ」は、学生、教職員、更にテレビ局のレポーターまでが入り交じり、大きな輪となって踊りました。何度も「アンコール！」の声が掛かり、大いに盛り上がりました。人間栄養学科は残念ながら表彰台に上ることはできませんでしたが（残念！）、学生同士、また教職員との触れ合いを通して楽しい一日を過ごすことができました。（助手・真鍋 芳江）



（左上）借り「人」競争
（上右）先生も一緒に「ピース！」
（下）名物「ウルラ」

大学公開セミナー

人間栄養学科では毎月1回公開セミナーを開催して、専任教員がその研究や専門分野の先端的な情報を一般に公開しています。岡山県内には管理栄養士の資格を得るための大学は沢山ありますが、中国学園大学ではどのような特色のある先生がどのような研究や指導をしているかを広く世間に知ってもらうためにこのセミナーを公開しています。また、高校生の皆さんに対しては、皆さんがこの大学に入れば、どのような先生からどのような事が学べるかを（自信を持って？）示す、メニューでもあります。これまでに開催されたセミナーとこれから行われるセミナーの概要は以下の通りです。



第1回セミナーの様子
（円内：松浦教授）

- 第1回（5月）：松浦 康 教授—果物や野菜に含まれる多糖類ペクチンの構造を酵素化学的に研究して、その構造が食品の食味や食感にどう係わるかを解説されました。
- 第2回（6月）：上島 孝久 教授—動物の体色の鮮やかな部分は色素によるものではなく、実は遺伝子の本体である核酸の成分であること、鮮やかな色が動物にとってどのような意義があるかを解説。
- 第3回（7月）：為川 雄二 講師
- 第4回（9月）：公開講座
（『講演会』のお知らせ』の記事をご参照下さい）
- 第5回（10月）：上田 由喜子 講師 （教授・上島 孝久）

「講演会」のお知らせ

来る9月28日（土）午後1時より、本学園大講義室にて講演会を開催します。これは「中国学園大学・中国短期大学公開講座」の一環であり、また管理栄養士養成課程開設記念の講演会でもあります。講師は、国立循環器病センター政策医療企画課長・厚生労働省科学技術調整官の大森豊緑氏と、明治製菓ザバスSNL（スポーツ&ニュートリション・ラボ）の管理栄養士・深川史麻氏をお招きします。大森氏からは「日本人の健康と食生活—国際比較を通して—」と題して、生活習慣病予防、健康寿命など日本人の食と健康の問題を新しい視点で浮き彫りにし、今後の食生活の指針を示していただきます。深川氏からは「スポーツ選手の食事」と題して、食事と成績の関係などをオリンピック出場選手などの実例をまじえお話しいたします。対象は、一般、専門家、学生、どなたでもOKです。健康や食生活、栄養に関心のある方、大学の講義に興味がある方などなど、気軽にお出かけ下さい。受講料は無料です。その他、講演前に骨密度の測定や本学の実験・実習室の見学などの体験ができます（希望者は事前にお申し出ください）。（助教授・高 早苗）

来たれ！受験生！

～オープンキャンパス～

本学では、オープンキャンパスを下記の日程で開催致します。短い時間ですが、受験生の皆さんに大学生の気分を味わっていただき、本学の雰囲気を感じ取っていただけるよう、体験授業や進路相談などの各種イベントを準備しております。また、人間栄養学科の第1期生も当日はスタッフとして参加します。本学の先輩達と楽しい時間を過ごしていただければ、と思います。事前申込は不要です。お気軽にご参加ください。スタッフ一同、楽しみにしております。

【オープンキャンパス日程】

6月23日(日)／7月28日(日)／9月22日(日)／10月12日(土)
※12時30分から受付、午後1時より説明会を行ないます。
（講師・為川 雄二）

学外実習について

短期大学では2年生の6月最後の週から7月の第1週にかけて小学校・福祉施設・病院・事業所などに学外実習（給食管理実習Ⅱ）に出かけます。栄養士になるためには必要な単位です。2年生になると実習に向け今まで勉強したことを復習し、課題を作成したり、資料・献立を作成したりと日々いろいろなことに取り組んでいます。1週間もしくは2週間の実習であつという間に終了しますが、学生にとって非常に有意義で、成長を感じさせてくれます。

管理栄養士課程では、3年次に「臨地実習」といわれる学外での実習が4週間必要です。短大でお世話になっている施設に加えて、さらに多くの施設に実習依頼をすでに行っています。さらに実りある実習ができるのではないかと期待しています。（講師・川上 祐子）

紹介コーナー①

今号では、人間栄養学科の専任教職員（2002年度就任）を紹介します。（さらに2003年度・2004年度に3名ずつ就任予定です。）



（前段左から）①高早苗助教授、②佐々木敦子教授、③板野道弘教授、④岸田嘉一学長、⑤関周司学部長、⑥森次益三教授、⑦菅淑江教授、（中段左から）⑧三宅美恵子助手、⑨北島葉子助手、⑩真鍋芳江助手、⑪野瀬美紀子助手、⑫川上祐子講師、⑬上田由喜子講師、⑭橋内幸子助教授、⑮清原昭子講師、⑯村上淳助教授、（後段左から）⑰松浦康教授、⑱上島孝久教授、⑲嶋田義弘助教授、⑳為川雄二講師、㉑福森護助教授

